



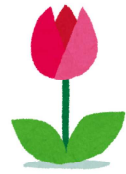
令和8年度 豊平小学校だより

みとめあい・ささえあい

No.2 令和8年5月1日(金)



新学期が始まり、1ヶ月あまりが経ちました。前向きに生活する子ども達の姿があちこちで見られます。4月当初の緊張感が和らぎ、様々な姿が出てくる時期でもあります。一人ひとりの思いを捉え、支えていきたいと思ひます。



自分の命は自分で守る(4/15 避難訓練)

避難後に、全校の皆さんに、自分は「よくできた」か「もう少しがんばれた」かを尋ねました。「よくできた」と思った人の手がたくさん挙がりました。確かに、とても落ち着いて行動ができていました。「もっとがんばれた」と思った人も、高学年を中心に少し手が挙がりました。そうやって冷静に、行動を振り返る気持ちも大事だと思ひました。



本当の火事だったら、訓練とは比べものにならない位ドキドキすると思ひます。ですが、一人一人が豊平小学校のかけがえのない宝です。ドキドキしても、自分の命を自分で守る努力ができるよう、避難訓練を今後も何回か実施します。その都度、自分の命を守ることができたか振り返っていきます。

はつらつと生活する姿

1年生の子どもたち、学校生活を少しずつ充実させています。給食が始まり、協力して準備をし、給食を味わう姿があります。掃除にも熱心に取り組んでいます。1年生は何もできない存在と捉えがちですが、保護者の皆様が一番よくわかってるように、保育園・幼稚園で様々なことを学び、園での生活をリードしてきました。そうして学んできた子どもたちですから、担任も子どもたちに問いかけ、子どもたちが培ってきたことを生かしながら、学校生活を作っています。はつらつと、そしてやる気をもって生活する1年生の姿があります。



ちがいを楽しもう

3年生や6年生の教室で、「色と形と言葉のゲーム」という図工を行いました。「おいしい」とか「困った」というお題に対し、自分が「これだ」と思う形を選びます。算数のように答えはありません。その子の考えたことが答えです。そして、人によって見方は全く違います。



うれしく思っただのは、そうした友達の見方に「へえ」とか「なるほど」という声があがることです。それは楽しい雰囲気を作りますし、発表してくれた本人も嬉しくなります。日々の生活の中で見方・考え方の違いは数多く生じます。それが当たり前であるし、このゲームのように、その違いを楽しめると生活はもっと充実します。そんな思いを育てていければと思ひます。

思いやりの心を育む(4/28 人権の花贈呈式)

今年度、3年生と環境クリーン委員会の皆さんが、「人権の花」の栽培に取り組んでくれます。意欲が感じられ、ありがたいです。

花は、「水が欲しいよ」とか「お腹がいっぱいだよ」とか言ってくれません。だから、こちらが想像力を働かせるしかありません。人も同じだと思ひます。友達や家族や周りの人を大事にするためには、思いやりの心で、相手の気持ちを想像しなくてははいけません。花を育てることは、思いやりの心を育てるためにとってもよいことだと思ひています。育てる花が玄関を美しく彩るのが楽しみです。

